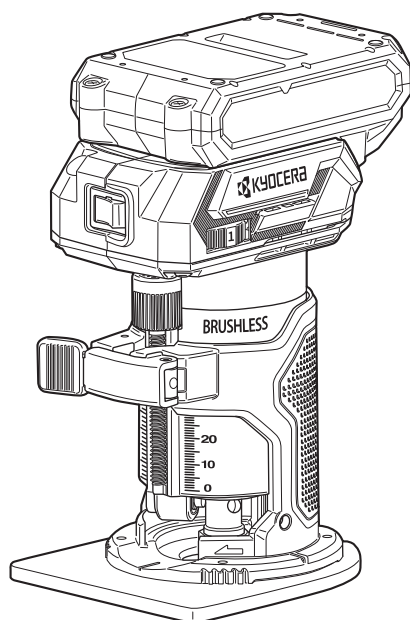


充電式トリマー BTRZ-20



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルハ



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本製品の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
充電式トリマーご使用に際して	7
各部の名称	10
各部の名称	10
仕様・付属品・用途	11
仕様	11
付属品	11
用途	11
電池パック・充電器について	12
操作方法	16
制御回路について	16
スイッチ操作	16
回転数調節ダイヤル	17
LED ライト	18
ベースの脱着	19
ビットの取付け、取外し	21
切込み・彫込みの深さ調節	22
ストレートガイドの取付け、取外し	23
切削作業	24
ストレートガイドの使用	26
別販売品について	28
保守と点検	32
保証書	裏表紙

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠ 危険」と「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - ⚠ 危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 - ⚠ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - ⚠ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「⚠ 危険」・「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

⚠ 危険

安全作業のために：

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・ 改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは、火への投入、加熱をしないでください。
3. 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
 - ・ 電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
5. 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂のおそれがあります。

危険

6. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
7. 電池パックを水のような導電体に浸さないでください。また、電池パックの内部に水のような導電体を浸入させないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂のおそれがあります。
8. 電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。
 - ・ 高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火する原因になります。
9. 電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。
 - ・ 指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

警告

1. 正しく充電してください。
 - ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
 - ・ 周囲の温度が5℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. 感電に注意してください。
 - ・ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業はけがのおそれがあります。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
4. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

安全上のご注意

警 告

5. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
6. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、本体から電池パックを外してください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
8. 不意な始動は避けてください。
 - ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
10. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
 - ・失明のおそれがあります。
11. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
12. ご使用済みの電池パックは一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。
 - ・棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
13. 電池パックを電子レンジに入れないでください。
 - ・急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。
14. 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついたときは充電工具あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。
 - ・そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
15. 電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・ 充電工具や電池パックを、温度が45℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や車内など）に保管しないでください。
4. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

安全上のご注意

注 意

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
13. 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
14. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
15. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

注 意

16. 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - ・ 皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
17. 電池パックは出荷前に若干量の充電をしてありますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。
18. 電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。
 - ・ 充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。
19. 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。
 - ・ 保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
20. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・ 修理担当者以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
 - ・ 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
 - ・ この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

安全上のご注意

■ 充電式トリマーご使用に際して

先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式トリマーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警 告

1. 使用中は、振回されないよう本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
2. 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 刃物にヒビ、割れなどの異常がないことを確認し、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 刃物が破損したり外れたりして、けがの原因になります。
4. 切削する材料はクランプや万力などで、動かないように固定してください。
 - ・ 作業中に材料が動くと、けがの原因になります。
5. 切削する材料にベースプレート面、ストレートガイド（案内定規）を密着させて使用してください。
 - ・ ベースプレートが浮いた状態で使用すると本体が不安定になり、けがの原因になります。
6. 使用中、製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ビットなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
 - ・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。
9. トリマーテーブルでの使用はしないでください。
 - ・ ベースが破損するおそれがあります。
10. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことは、しないでください。
 - ・ 端子に金属類を接触させないでください。
 - ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
 - ・ 雨や水にぬらさないでください。
11. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所での使用や充電はしないでください。
 - ・ 爆発や火災のおそれがあります。

⚠ 警 告

12. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
13. 充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。
14. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
15. 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
 - ・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。

⚠ 注 意

1. 刃物類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 本製品の回転速度とコレットチャックに適したビットを使用してください。
 - ・ ビットが外れるなどして、けがの原因になります。
3. ビットを取扱うときには、刃先に十分注意してください。
 - ・ けがの原因になります。
4. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。また節の部分切削する場合は注意が必要です。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
5. 使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
6. 面取りなど材料の側面加工を行なう場合には、図1の矢印方向に本体を送り切削してください。
 - ・ 逆方向に送ると回転により、本体が引っ張られ、けがの原因になります。
7. 切削直後の刃物は高温になっているので、触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。

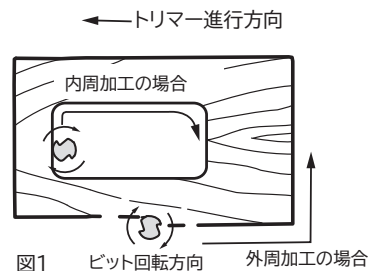


図1 ビット回転方向 外周加工の場合

安全上のご注意

⚠ 注 意

8. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
 - ・ 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
9. 本体を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
10. 使用中以外はビットをベースプレート面より引っ込めておいてください。
 - ・ けがの原因になります。
11. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

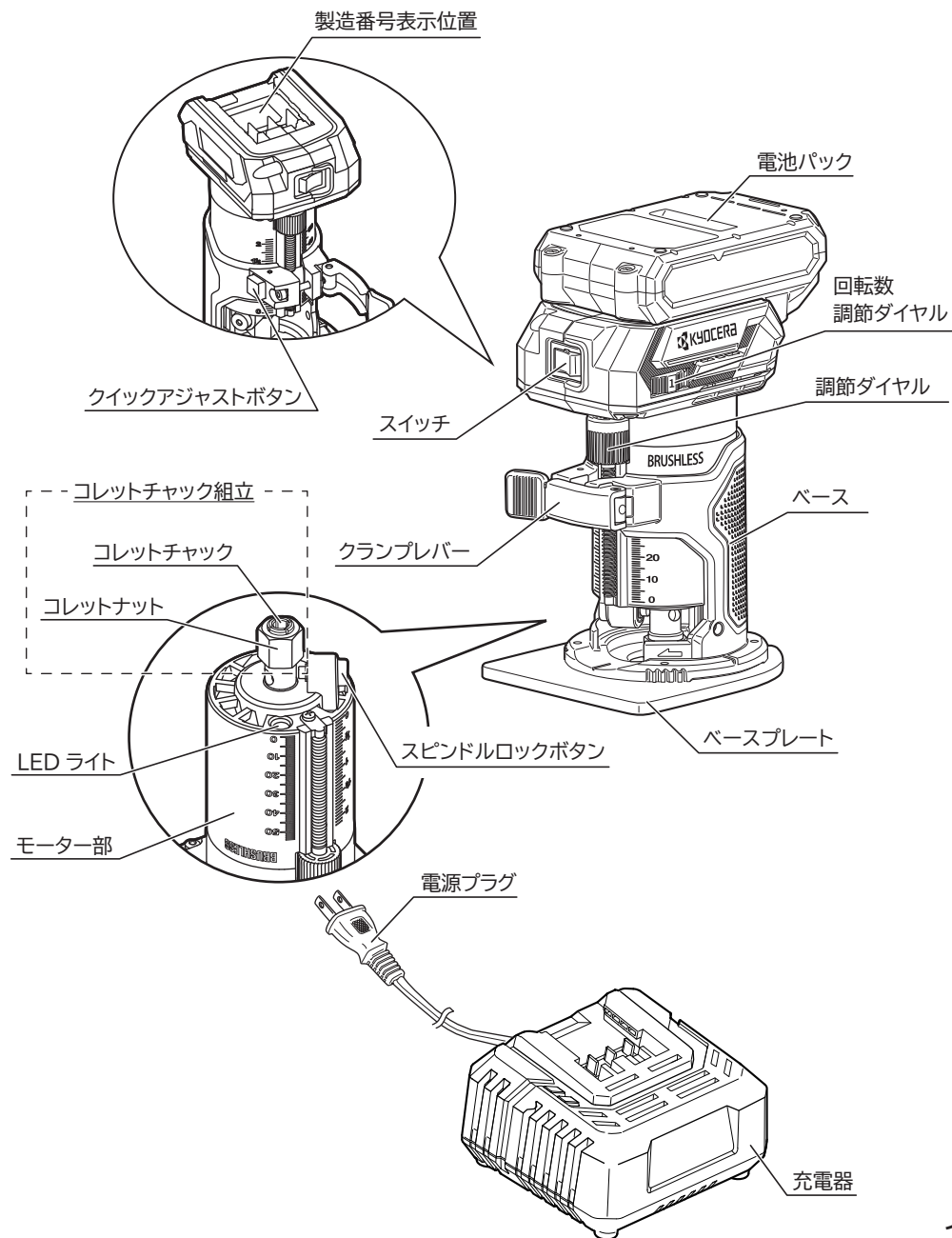
左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっていますので、不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちくださるようお願いいたします。

⚠ 注 意

- ・ 不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

各部の名称

■ 各部の名称



仕様・付属品・用途

■ 仕様

● 本体

無負荷回転数	15,000 - 30,000 min ⁻¹
取付ビット軸径	6 mm
電源	DC 18V (リチウムイオン)
本体寸法 ※ ¹ (長さ×幅×高さ)	137 × 101 × 198 mm
質量 ※ ¹	1.5 kg

※1 電池パック (BZ-1820L) 取付け時の値です。

● 電池パック (BZ-1820L)

電圧	DC 18V
電池	リチウムイオン電池
容量	2,000mAh
質量	0.37 kg

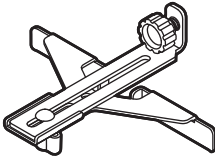
● 充電器 (BCZ1800L)

電源	AC 100V 50/60Hz
定格出力	DC 18V, 2.4A
定格電力	60W
充電時間 ※ ²	60 分
質量	0.45kg

※2 充電時間は、BZ-1820L の充電時間であり、周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

■ 付属品

片口スパナ (17mm) …1 	ストレートガイドー式 …1 
電池パック …1 (BZ-1820L)	充電器 …1 (BCZ1800L)

■ 用途

- ・ 各種木材の面取り、溝彫り作業

電池パック・充電器について

危 険

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

警 告

1. 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
 - ・周囲の温度が5℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所での使用や充電はしないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。
3. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

注 意

1. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
2. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

電池パック・充電器について

● 電池パックの取付け、取外し

(取付け)

- 本体内側の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、確実にさし込んでください。

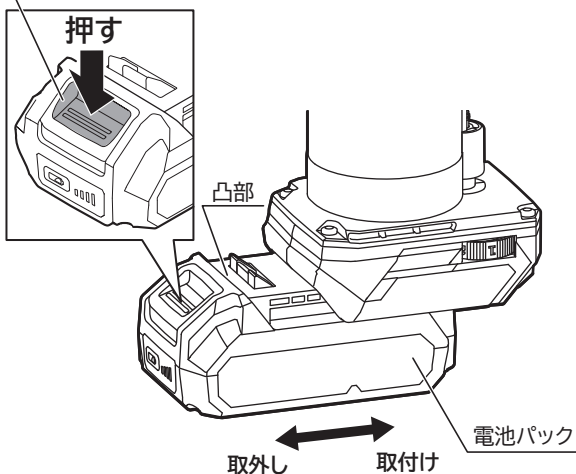


- 電池パックが本体に確実に取付けられていることを確認してください。使用中に脱落するおそれがあります。

(取外し)

- プッシュレバーを押えて、電池パックを矢印方向にまっすぐ取外してください。

プッシュレバー

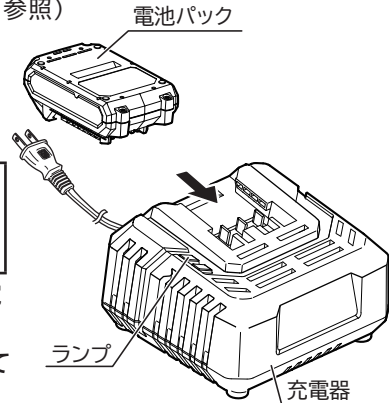


電池パック・充電器について

● 充電方法

- ・ 充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。
充電状態は充電器のランプで表示しています。(表 1 参照)

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
2. 電池パックを充電器にさし込みます。



- ・ 電池パックを奥まで確実にさし込んでください。充電できない場合があります。また、適切なランプ表示にならない場合があります。

3. 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から抜取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・ 充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ、ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・ リチウムイオン電池は、電池パックの温度が 5℃～40℃の間で充電できます。
- ・ 充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

充電器(BCZ1800L)ランプ表示

表 1

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電中	緑	点 滅 	充電している状態。
充電完了	緑	点 灯 	充電が完了した状態。
温度待機	赤	点 灯 	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	赤	点 滅 	充電できない状態。 ・電池寿命または電池パックの故障が考えられます。

- ・ 購入後、初めての使用時や長期保管後の電池パックは、充電時間が長くなる場合があります。
- ・ 電池パックの取付けが不十分な場合、適切なランプ表示にならない場合があります。

電池パック・充電器について

● 電池パックの保管について

⚠ 注 意

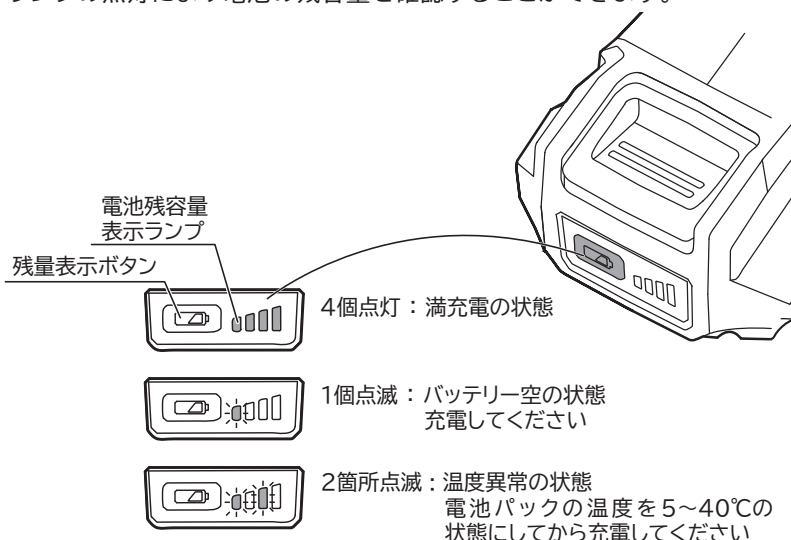
- ・ 電池残容量が少ない状態で放置しないで充電してください。電池残容量表示ランプが1個点滅の場合、充電してください。
- ・ 満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管ください。
- ・ 電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管ください。

● 電池寿命について

- ・ 正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命とお考えいただき、新しい電池パックをお買い求めください。

● 電池残容量の確認

- ・ 電池パックの残量表示ボタンを押すと、電池残容量表示ランプに現在のバッテリーレベルが表示されます。ランプの点灯により電池の残容量を確認することができます。



- ・ 2箇所点滅した場合は、電池パックが常温になるまで作業を中断してください。

操作方法

■ 制御回路について

本製品には制御回路（保護機能）を搭載しています。本製品使用中、スイッチを入れた状態でも下記の場合、モーターが停止する場合があります。これは保護機能によるものであり、故障ではありません。

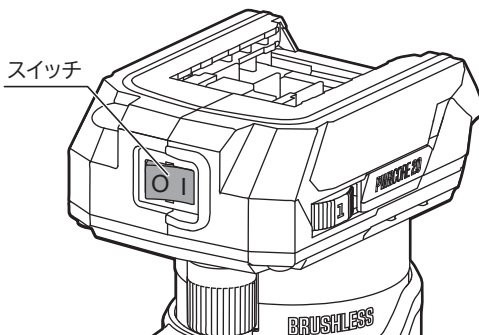
- ・ 電池残容量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。
- ・ 本体、電池パックが過負荷状態または、高温になるとモーターが停止する場合があります。いったんスイッチを切り、本体から電池パックを外してから過負荷の原因を取り除いてください。

電池パックが過熱状態の場合は、使用を中断し、電池パックを冷却してください。

- ・ スwitchを入れた状態で電池パックを挿入しても起動しません。一旦、スイッチを切って、再度スイッチを入れると起動します。

■ スイッチ操作

- ・ 本製品のスイッチはシーソー型スイッチです。
「I」側を押すとスイッチが入り、「O」側を押すと切れます。



- ・ 保護機能が働いた直後にスイッチを入れても本体が動かない場合がありますが、異常ではありません。
- ・ スイッチを入れた状態で電池パックを挿入しても起動しません。一旦、スイッチを切って、再度スイッチを入れると起動します。
- ・ 保護機能が働いても LED ライトは自動消灯しません。保護機能が働いた場合はスイッチを切ってください。

操作方法

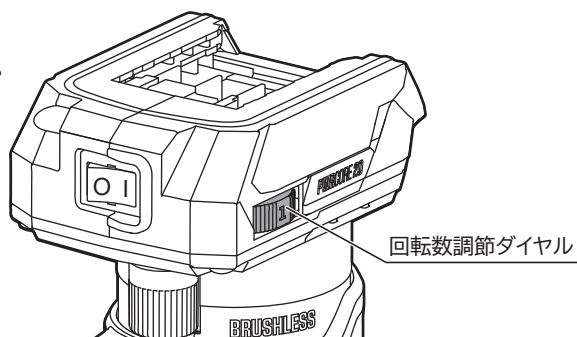
■ 回転数調節ダイヤル

⚠ 警 告

- 作業中は速度を変更しないでください。本製品を制御できなくなり、事故やけがの原因になります。

回転数調節ダイヤルを回すことにより、回転数を 6 段階に調節できます。

- ダイヤル表示は 1 ～ 6 まであり、数字が大きくなるに従って回転数は高くなります。



回転数目安表

(min⁻¹)

ダイヤル	回転数	用途
1	15,000	堅い木材（アピトンなど） 大径ビット
2	16,500-18,000	
3	19,500-21,000	
4	22,500-24,000	やわらかい木材（米松、杉など） プラスチック 小径ビット
5	25,500-27,000	
6	28,500-30,000	

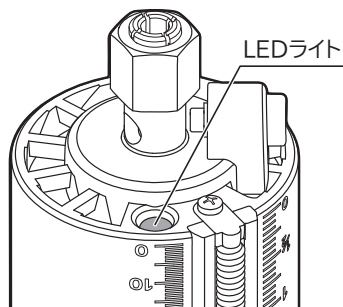
■ LED ライト

⚠ 注 意

- LED ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

本製品にはビットの先端を照らすための LED ライトが付いています。

- スイッチを入れると LED ライトが点灯します。スイッチを切ると約 10 秒後に消灯します。
- LED ライトは保護機能が働いた場合は、自動でモーターが停止し、次のように点滅します。本体、電池パックが過負荷状態または、高温になると LED ライトが高速で点滅し、電池残容量が少なくなると LED ライトがゆっくりと点滅します。



- LED ライトのレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。レンズ部にキズが付くと、明るさが低下する原因になります。
- レンズ部の清掃は、ガソリン、シンナーなどを使用しないでください。レンズ部を傷めます。

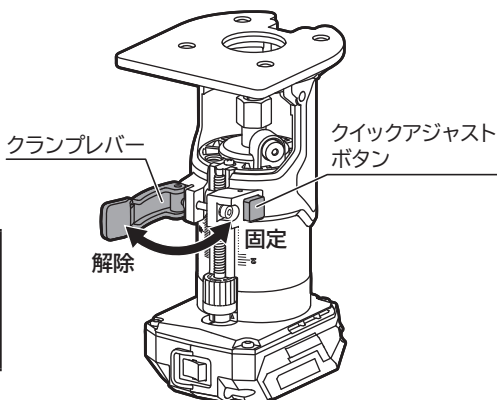
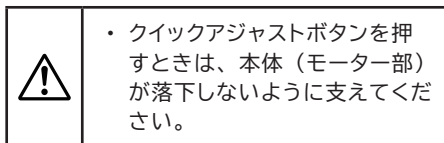
操作方法

■ ベースの脱着

(図 1)

(取外し)

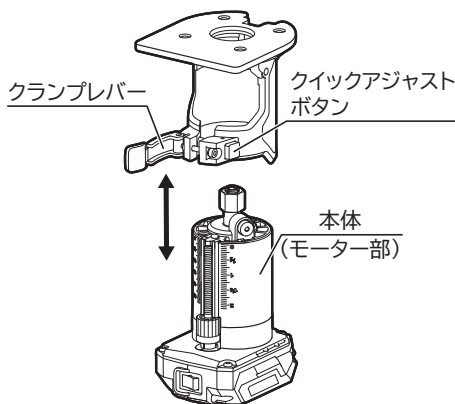
- ・ クランプレバーを矢印（解除）方向に開いて本体の固定を解除します。（図 1）
- ・ クイックアジャストボタンを押さえた状態で、本体（モーター部）を持ち上げて引き抜きます。（図 2）



(図 2)

(取付け)

- ・ クランプレバーが開いている状態でクイックアジャストボタンを押しながら本体（モーター部）をベースにさし込んでください。（図 2）
- ・ クランプレバーを矢印（固定）方向に閉じて本体を固定します。（図 1）



⚠ 注 意

- ・ ご使用中にクランプレバーの締付けがゆるくなることがあります。

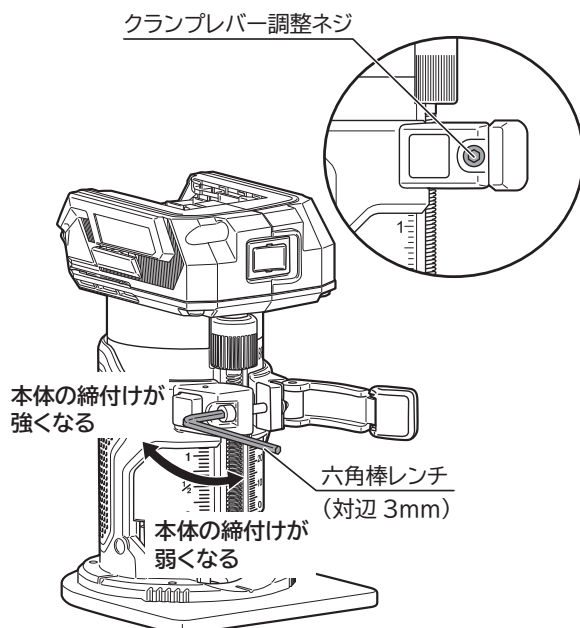
以下の手順でクランプレバーの締付力を調整してください。

（調整手順）

- 【1】 クランプレバーを開き、本体の固定を解除します。
- 【2】 お手持ちの六角棒レンチ（対辺 3 mm）でクランプレバー調整ネジを適度に締めてください。
- 【3】 クランプレバーを閉じ、本体の締付け力が良いか確認します。
- 【4】 締付け力が強い場合は、ゆるめてください。



- ・ ゆるめすぎると、クランプレバー調整ネジが完全に外れる場合がありますので注意してください。
- ・ クランプレバー調整ネジを締付けすぎた状態で無理にクランプレバーを締めると、破損の原因になります。



操作方法

■ ビットの取付け、取外し

⚠ 警 告

- ・ ビットの取付け、取外しの際はスイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ ビットにヒビ、割れなどの異常がないことを確認し、取扱説明書に従って確実に行なってください。確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。

⚠ 注 意

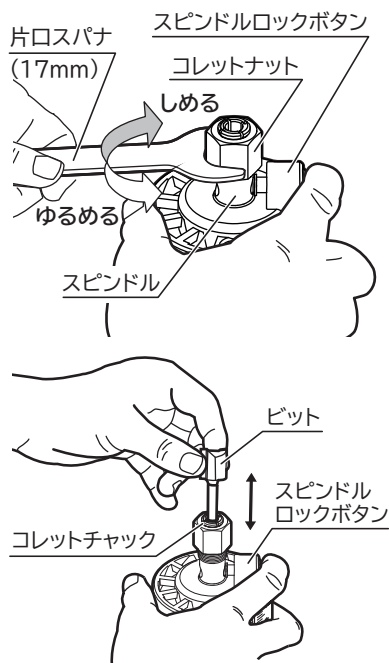
- ・ 作業直後のビットは高温になっているので、触れないでください。やけどの原因になります。
- ・ 本製品の回転速度とコレットチャックに適したビットを使用してください。ビットが外れるなどして、けがの原因になります。
- ・ ビットを取扱うときは、刃先に十分注意してください。けがの原因になります。

(取付け)

- 【1】 本体に取付いているベースを取外します。
(19 ページの「ベースの脱着」参照)
- 【2】 スピンドルロックボタンを押さながらスピンドルを回すと回転が止まる位置(穴)があります。この状態で片口スパナ(17 mm)でコレットナットをゆるめます。
- 【3】 コレットチャックにビットを通し、スピンドルの穴に深くさし込みます。スピンドルロックボタンを押してスピンドルを固定し、片口スパナ(17 mm)でコレットナットをしっかりと締付けます。



- ・ ビットがしっかり固定されていることを確認してください。



(取外し)

- ・ 取付けとは逆方向に片口スパナ(17 mm)でコレットナットを回し(ゆるめる)て、ビットを取外します。

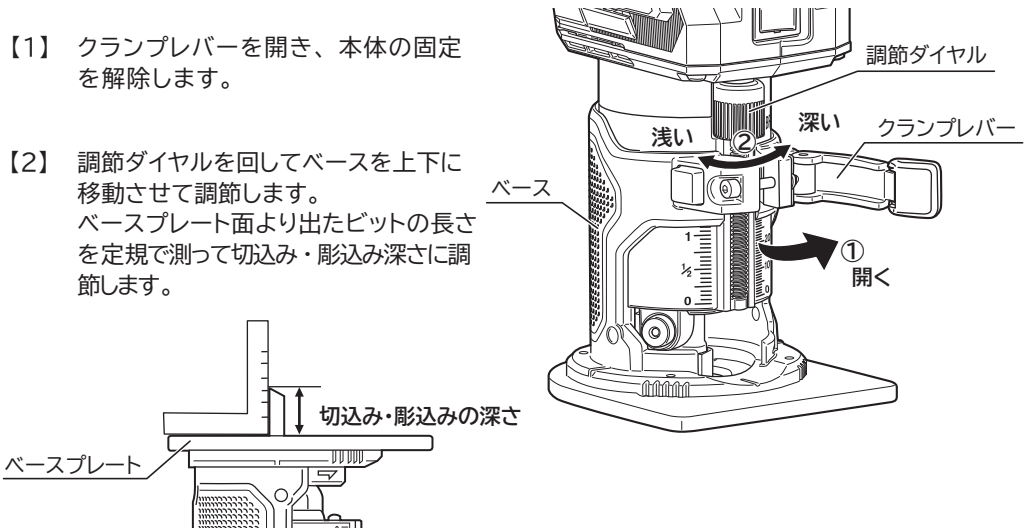
■ 切込み・彫込みの深さ調節

⚠ 警告

- ・ 調節の際はスイッチを切り、本体から電池パックを外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 調節後は、確実にクランプレバーを閉じて本体を固定してください。クランプレバーが開いていると、けがの原因になります。

※ ベースプレート面から出たビットの長さが切込み・彫込みの深さになります。

- 【1】 クランプレバーを開き、本体の固定を解除します。
- 【2】 調節ダイヤルを回してベースを上下に移動させて調節します。
ベースプレート面より出たビットの長さを定規で測って切込み・彫込み深さに調節します。



- 【3】 調節後は、クランプレバーを閉じて本体を固定します。

※ 設定した切込み・彫込みの深さが適切であるかを確認するために、必ず試し切りを行なってください。
必要に応じて、調節ダイヤルを再調節してから使用を開始してください。

● 調節ダイヤルの使用

- ・ 調節ダイヤルを使用することで、切込み・彫込みの深さを簡単に調節できます。
- ・ 調節ダイヤルには、切込み・彫込みの深さを示す目盛が刻まれています。(1目盛:0.2mm)



- ・ 調節ダイヤルは目安です。精度が必要なときは、ビットの長さ（切込み・彫込みの深さ）を定規で測定してください。

操作方法

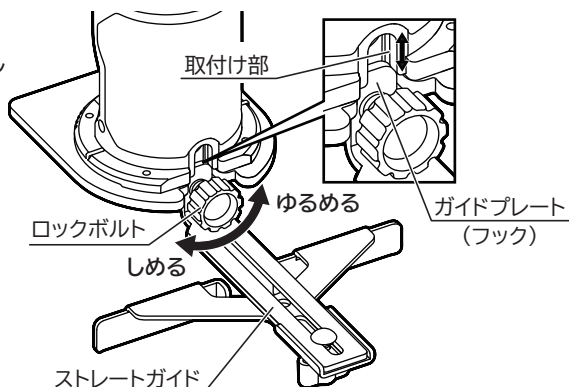
■ ストレートガイドの取付け、取外し

⚠ 警 告

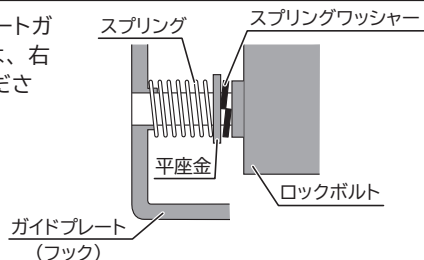
- ・ ストレートガイドの取付け、取外しの際はスイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

(取付け)

- 【1】 ストレートガイドのロックボルトを矢印（ゆるめる）方向に回して、ストレートガイドの取付け部に入るまで回します。



- ・ 誤ってロックボルトがストレートガイドから完全に外れた場合は、右図の順で部品を組立ててください。



- 【2】 ガイドプレートのフックを本体のストレートガイド取付け部に挿入します。
- 【3】 ロックボルトを矢印（しめる）方向に回して、ストレートガイドをベースに固定します。

(取外し)

- ・ 取付けとは逆方向にロックボルトを回し（ゆるめる）て、ストレートガイドを取外します。

切削作業

⚠ 警告

- ・ 切削する材料はクランプや万力などで、動かないように固定してください。作業中に材料が動くと、けがの原因になります。
- ・ 切削する材料にベースプレート面、ストレートガイド（案内定規）を密着させて使用してください。ベースプレート面が浮いた状態で使用すると本体が不安定になり、けがの原因になります。
- ・ 使用中はスピンドルロックボタンを押さないでください。けがの原因になります。

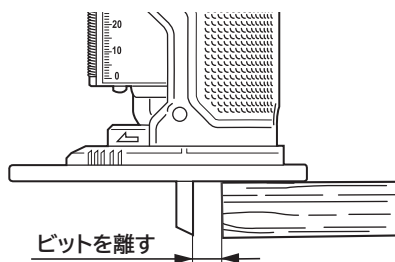
⚠ 注意

- ・ 材料に釘などの異物がないことを確認してください。また節の部分切削する場合は、注意が必要です。刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ・ 使用中以外はビットをベースプレート面より引っ込めておいてください。けがの原因になります。
- ・ 一度の切削深さを 3.2 mm 以上にしないでください。切削面が粗くなったり、ビットが破損する原因になります。
- ・ ベースプレートをベースから取外さないでください。取外して再度取付けると精度が悪くなるおそれがあります。

● 加工の基本

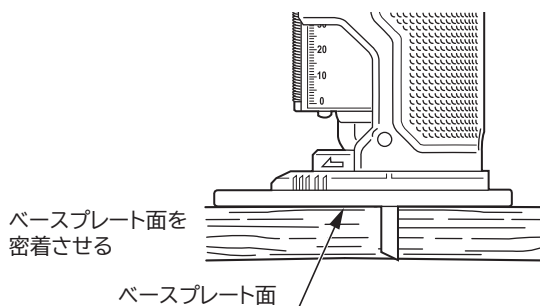
① ビットの位置

- ・ 材料にビットが触れない位置でスイッチを入れ、モーターの回転が上がり、一定の回転になった後に加工を始めてください。



② ベースプレートの密着

- ・ 加工中は、ベースプレート面を材料に密着させてください。



切削作業

③送り方向

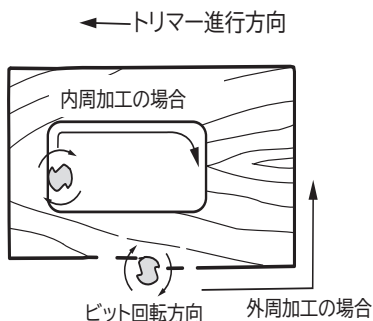
(外周加工・・・面取り、側面削りなど)

- 材料の外側を加工するときは、本体を反時計周りに送ります。

(内周加工・・・溝切り、彫込みなど)

- 材料のくり抜きの加工をする場合は、本体を時計周りに送ります。

	• 外周加工、内周加工ともに送り方向に向かって材料の右側にビットがきます。 • ストレートガイドを使用する場合には、送り方向に向かってガイドが右側にくるようにしてください。
---	--



④送り速度

- 本体の送り速度は、加工する材料、ビットの種類、切込み量により異なります。
- 加工を始める前に不要材で適切な送り速度をつかんでください。

	• 送り速度が速すぎると本体やビットの損傷の原因になるだけでなく、きれいな加工面が得られません。また速すぎても、遅すぎても切削面が焦げるおそれがあります。
---	---

端面を基準に作業するとき

	• ビット中心からベースプレートの各端面までの距離は一定ではありません。精度が必要な作業のときは、同じ端面を材料もしくは治具に当ててください。	
---	---	--

■ ストレートガイドの使用

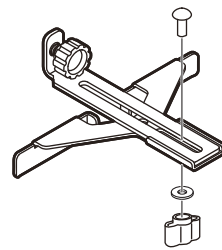
警告

- ・ ストレートガイドのロックボルトおよび蝶ナットは確実に固定してください。作業中に外れると、けがの原因になります。

(ストレート加工)

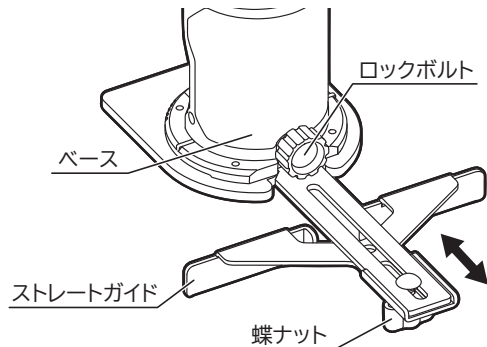
- ・ ストレートガイドは長尺物の面取り、溝切りなどの直線加工に使用してください。
- 組付け順は、右図のようにしてください。

組付け順 (ストレート加工)



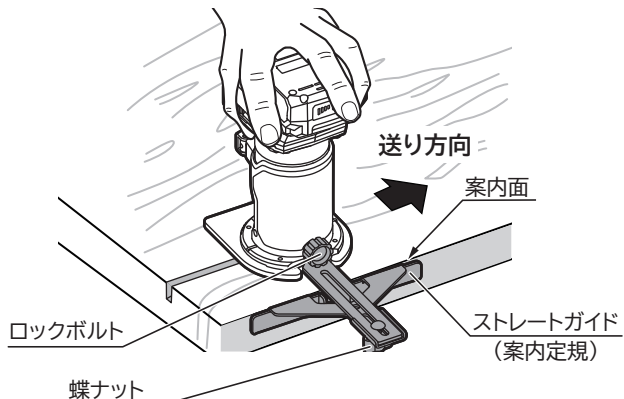
本体取付け方

- ・ ロックボルトでストレートガイドをベースに取付けます。
- ・ ストレートガイドの位置調整は、蝶ナットをゆるめ、ストレートガイドの案内面を移動させて行ないます。



使用方法

- ・ 加工材にベースプレート面を密着させ、ストレートガイドの案内面を加工材に押しつけた状態で加工してください。



切削作業

(円切り加工)

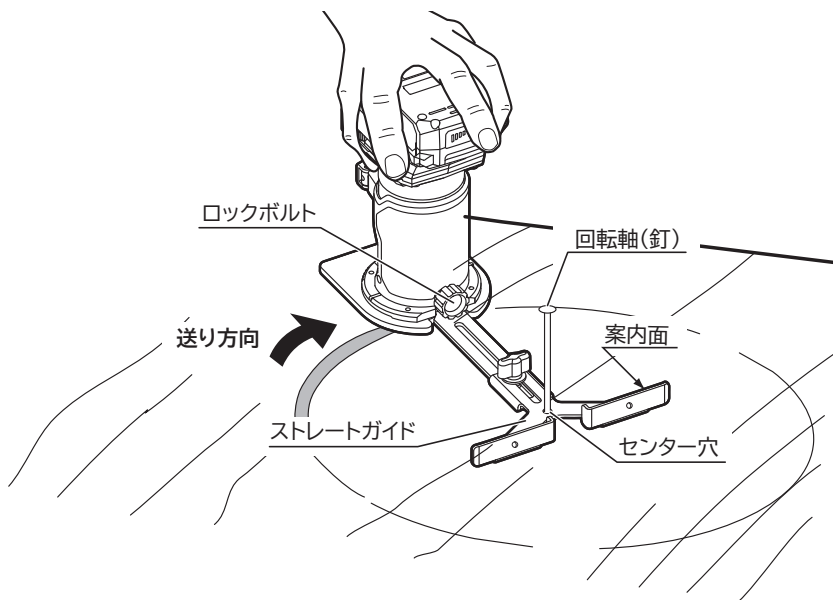
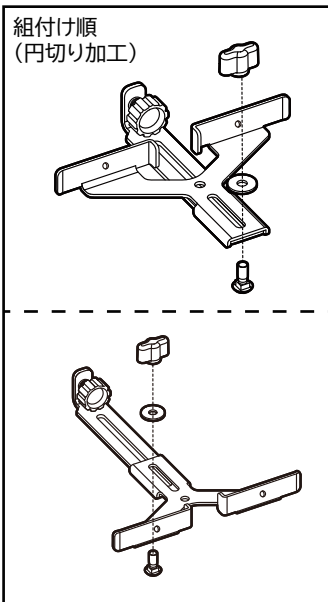
- ストレートガイドを組変えることにより、円切り加工をすることができます。
蝶ナットを外し、右図のように案内面を上に乗替えてください。

本体取付け方

- ロックボルトでストレートガイドをベースに取付けます。

使用方法

- センター穴を円の中心に合わせ、釘を打って回転軸とします。右まわりに送り加工してください。
- 円切り加工は、半径 85 ~ 205mm（回転の中心からビットの中心までの距離）で行なえます。



別販売品について

● 各種ビット

- 各種木材の面取り、内面加工、溝切りなど木工作業用に各種ビットを用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

ギンナン面

	A	B	C	D
2分用(4.5R)	40	6	21.5	10
3分用(7.5R)	42	6	27.5	12

ボーズ面

	A	B	C	D
2分用(6R)	40	6	22.5	10
3分用(9R)	44	6	29.5	14

角面(45°)

A	B	C	D
42	6	27.5	12

超硬ストレートビット

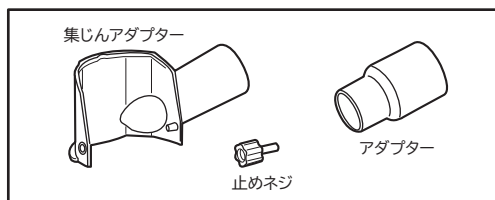
A	B	C	D	
49	6	3	12	(刃数1)
60.5	6	6	20	(刃数2)
60	6	6	20	(刃数1)

目地払い

A	B	C	D
54	6	10	15

別販売品について

● 集じんアダプターセット



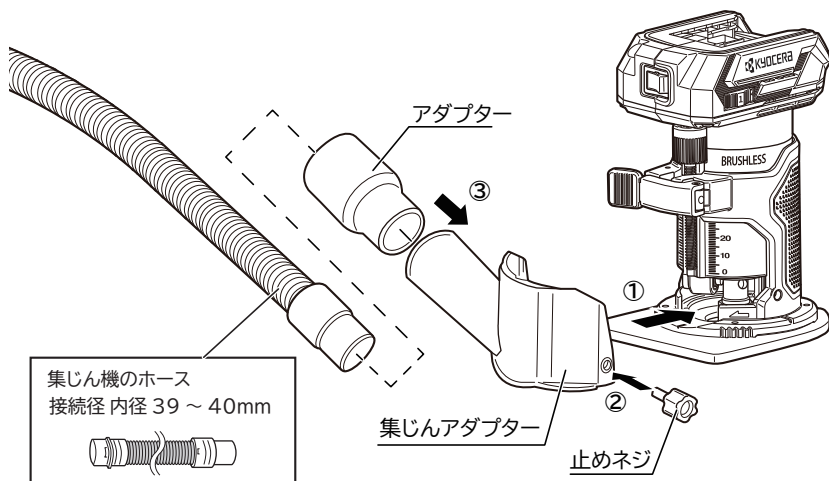
⚠ 警告

- ・ 集じんアダプターの取付け、取外しのときはスイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 使用中にダスト口から指や棒状のものを入れないでください。詰まったものを取除く際は、スイッチを切り電池パックを取外してください。

(集じん機との接続)

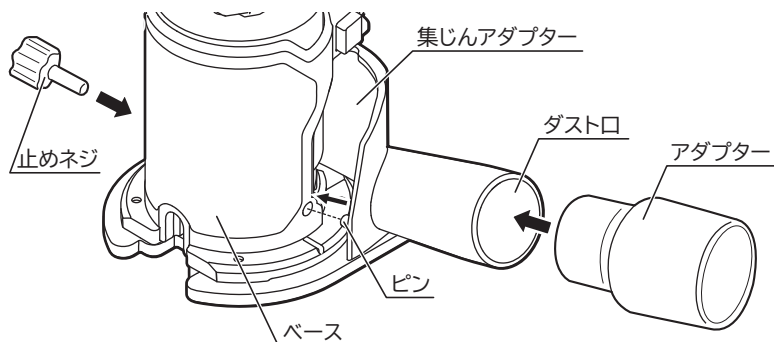
⚠ 警告

- ・ 集じん機と接続するときはスイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
 - ・ 接続する集じん機の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ 集じんアダプターと集じん機のホースなどで集じん機に接続すると粉じんの少ない作業ができます。
- ⚠ ・ 材料と本体の位置関係、用途によって集じんしきれない場合があります。



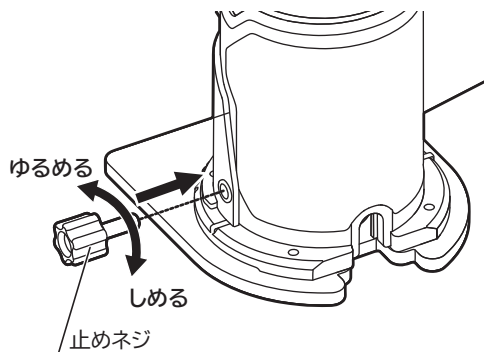
(取付け)

- 【1】 集じんアダプターのピンをベース側面のネジ山の無い穴に入れます。
- 【2】 集じんアダプターの反対側の穴をベース側面のネジ穴に合わせます。
- 【3】 止めネジを矢印（しめる）方向に回し、集じんアダプターを本体に固定します。
- 【4】 集じんアダプターのダスト口にアダプター、集じん機のホースの順でさし込みます。



(取外し)

- ・ 取付けと逆の要領で行なってください。



別販売品について

● コレットチャック組立 1/4 インチ (6.35mm)

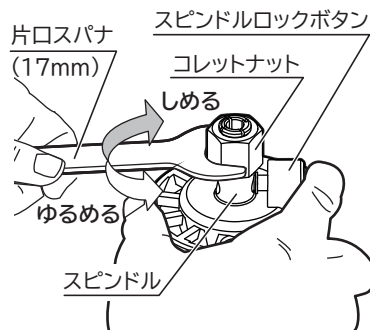
- ・ 付替えることにより、軸径 1/4 インチのビットを使用することができます。



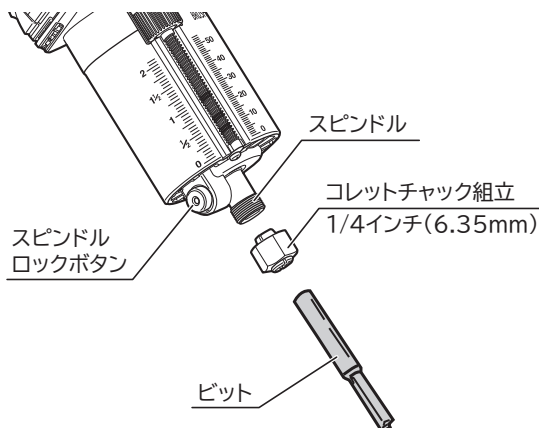
- ・ コレットナットとコレットチャックは一体になっています。

(交換方法)

- 【1】 本体に付いているベースを外します。
(19 ページ「ベースの脱着」参照)
- 【2】 スピンドルロックボタンを押さえながらスピンドルを回すと回転が止まる位置（スピンドルの固定）があります。この状態で片口スパナ（17mm）でコレットナットをゆるめ、コレットチャック組立を外します。



- 【3】 コレットチャック組立を交換します。
- 【4】 スピンドルにコレットチャック組立を軽く締付け、1/4 インチのビットを取付けます。
スピンドルロックボタンを押して、スピンドルを固定し、片口スパナ（17mm）でコレットナットを締付けます。
(21 ページ「ビットの取付け、取外し」参照)
- 【5】 本体にベースを取付けます。



保守と点検

警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

● 各部取付けネジの点検

- ・ ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締め直してください。

● 使用後の手入れ

- ・ 油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

● 作業後の保管

- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・ 電池パックを長期間保管する場合は下記のことに注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電にして保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管はしないこと。
 - d. 0℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

● 修理について

- ・ 本製品は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
- ・ その他、部品の購入、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

NOTE

部品の購入、故障、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なく
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ



0570-666-787

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、こちらをご確認
ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は、こちらをご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

保証書

持込修理

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から
下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束する
ものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名		BTRZ-20		製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）	
お客様	お名前				
	ご住所 〒				
			電話 （ ）		
お買い上げ日			保証期間（お買い上げ日より）		
年 月 日			6ヶ月		
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号				

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって
お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い
上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にされない場合には、京セラインダストリアル
ツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換え
られた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる
損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

